

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小小学校

明治9年8月17日開学

R3. 12. 20

第8号



## 「の」の心をもつ

校長 長谷川 和彦



体育館での全校朝会（11月10日）

新型コロナウイルス感染症の特別警報が解除されたことを受け、11月から全校朝会を体育館で実施することにしました。全校の子どもたちが一斉に体育館に集まるのは4月7日の始業式以来でした。久しぶりの全校朝会でしたが、始まる前も始まってからも子どもたちの態度は立派でした。表彰式では、入賞した子どもに大きな拍手を送り、校長の話や「生活のめあて」の話では、姿勢よく静かに話を聞くことができました。この態度は、12月の全校朝会でも見られました。先生方から「話の聞き方が良い」「これを習慣にしていきたい」と、称賛の声がありました。

曹洞宗徳雄山建功寺住職の柘野俊明（しゅんみょう）氏は、物事と向き合うときに「の」の心をもつことの大切さを説いています。「私と〇〇」というふうに「と」の心で見ると、〇〇と自分が対立する関係になり、不平不満や嫉妬心、競争心が生まれてくるそうです。「私の〇〇」というふうに「の」の心で接してみると、自分と〇〇が一体となり、自分事と捉えたり、「何とかしてあげたい」と寄り添う気持ちが生まれたりするそうです。

2学期は、次のような子どもの姿も見られました。傘を忘れた子を自分の傘にさり気なく入れる、雨の日も風の日もあいさつ運動を続ける、かがやき遠足で自分の役割を果たす。これらも「の」の心で接した姿なのではないでしょうか。子どもたちには、これからも「私の飯小」「私の学級」「私の友達」「私の登校班」など、「の」の心で物事と向き合い、寄り添う幸せや喜びを感じてほしいです。

2学期もあとわずかになりました。充実した2学期になったのも保護者の皆様や地域の皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 同和教育講演会

城北中学校学区の6年生がリモートで人権教育、同和教育講演会に参加しました。講師の中倉さんが受けた壮絶ないじめ体験を聞き、驚きや憤りを感じていました。そして、いじめは簡単に人の命をうばってしまうことがあるが、気軽に相談できる人が周りにいることで立ち直って前向きになれることも知ることができました。子どもたちは、差別やいじめは絶対に許してはならぬことと、苦しんでいる人や困っている人に寄り添うことの大切さを学ぶことができました。

## 地域児童会

地域の皆様におかれましては、日頃から登下校の見守りをさせていただきありがとうございます。12月3日に児童は、2学期の登校の様子について振り返りをしました。「地域の人にあいさつをもっと元気にしたほうがいい」「後ろを歩いている人がちゃんとついてきているか確認しようと思う」など改善点を出し合いました。そして、冬季の登校の仕方について確認しました。学校からは歩行の仕方、地域の公共施設の使い方について指導を行いました。

昨年度のように大雪のため歩道が除雪されない状態になると児童の登下校が大変心配です。今後も地域の方々からの見守りをよろしくお願いいたします。

## 書き初め講座

上越教育大学の荒川圭子特任教授をお招きし、3年生以上の児童を対象に書き初め講座を行いました。各学年2時間ずつの講座を2日に分け体育館で行いました。

「とん」と紙に筆を乗せ、「くいつ」と筆を立てるといったように分かりやすく教えてくださいました。講習会の最初に書いた字と最後に書いた字を比べると全然違っており、子どもたちは自分の上達を実感し嬉しそうでした。書き初め大会が楽しみです。



教育広報紙 令和3年(2021年)12月1日発行 vol.51

# かけはし

QRコードから見る 

または  で検索



新潟県教育委員会

## 教育広報誌「かけはし」

広報誌「かけはし」51号が発行されました。左のQRコードからご覧いただけます。

いじめ見逃しゼロスクールの取組や全国学力・学習状況調査の本県の実況等が掲載されています。